

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 30 年 4 月 6 日 (NO.105)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

道内のCSの導入状況

■道教委は、平成 30 年 1 月 31 日現在の道内 CS 導入状況をまとめました。

導入市町村は 54 市町村で、昨年 4 月時点から 19 市町村増加。校数も 63 校増え、227 校になりました。

■30 年度までに約 6 割、31 年度までに約 8 割の市町村で CS が導入される見通しとなりました。

■道教委の柴田達夫教育長は、今年 2 月の第一回定例道議会で 30 年度教育行政執行方針を説明。その中で、「地域づくりも有効な CS の導入を促進するとともに、地域の人々の幅広い参画による地域学校協働活動を推進するなど、学校と地域の連携・協働を促進する」ことを表明しています。

今後、すべての学校において CS が導入されます。浦幌町はその先陣を切って着実に実践を重ねていきます。



平成 29 年度小中一貫 CS 委員会の協議

社会に開かれた教育課程

■この度、独立行政法人教職員支援機構支援事業として、ノースプロダクション発行、NPO 法人「みらいず works」制作の「地域みんなで子供たちの未来を拓くワークショップのすすめ」が完成しました。

■社会に開かれた教育課程の実現に向けて、浦幌町で行ったワークショップを例に取り上げ、地域資源を教材化して、地域協働による授業を構想するうえでわかりやすく実践的な啓発用冊子(A4 版、19P)に編集されています。

CS の手法を用いて、カリキュラムマネジメントを進めるための仕組みづくりが効果的にできる有効な資料として活用できます。



地域みんなで子供たちの未来を拓く ワークショップのすすめ

～社会に開かれた教育課程の実現に向けて～

独立行政法人 教職員支援機構 支援事業

「ワークショップのすすめ」みらいずworks